

e 学校だより



□□□□

東

雲

□□□□

秦野市立東小学校 令和2年7月17日



感染防止の取組や日頃の教育活動に対する保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

先日、東公民館の前で朝の登校指導をしていますと、登校班で歩いていて遅れてしまったのか、少し疲れた顔をして登校してきた1年生の子がいました。班長さんと二人で一緒に歩いてきたので「大丈夫ですか」とその子に声をかけると、私の顔を見てこうつぶやきました。

「校長先生、学校ってなんでこんなに遠いの？」と逆に質問されてハッとしましたが、「そうだね、ホントに。よく頑張ってるね。」そう勇気づけることしかできませんでした。

「班長さんみたいになれるといいね。」「うん。」と言うと、1年生は学校前の最後の坂を上っていきました。なんで遠いのかという1年生の質問にうまく答えられませんでした。片道2.5kmの道のりは1年生や低学年にとっては大きなお仕事です。一人ひとりに寄り添って安全に登下校できるよう働きかけていきたいと思えます。お力添えをいただいている地域の皆さんにも感謝です。



そんな道のりには、様々な出来事があります。道端には子どもたちに踏まれないかと心配そうな「カタツムリ」。どこから出てきたのか、田んぼからなのか「カエル」、そして子どもたちが特に興味をもっているのが「ダンゴムシ」。こうした足元の生き物に気を取られながらも、自らしっかり歩こうと気をつけ、班長さんや高学年のお兄さんお姉さんたちに支えられての登校です。



「新たな生活様式」の中で、「安全に」登校することが、子どもたちにとってとても大事なことです。「近づきすぎない」「大声でしゃべらない」など、これまでにないかわりにも気をつけながら、一人ひとりそれぞれのペースで場数を踏んで頑張っています。



そういえば学校へ向かう東田原や西田原からの通学路(バス通り)に、「田原小学校跡」という石碑を見かけました。東田原の駐在所より100mほど学校よりの歩道わきにあります。この場所に、大正11年12月まで田原小学校があったそうです。その後、田原小学校と東雲小学校、開進小学校の3校が1つになって今の東小学校ができたとのこと。1つになって今年で98年目。卒業生たちも通っていた道を今日も小学生たちが歩いています。簡単に答えられない学校の歴史を感じました。



※東小学校は田原小学校の前身の「修身館」創立から数えて今年で147年目となります。